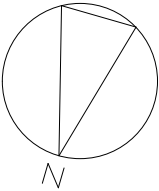
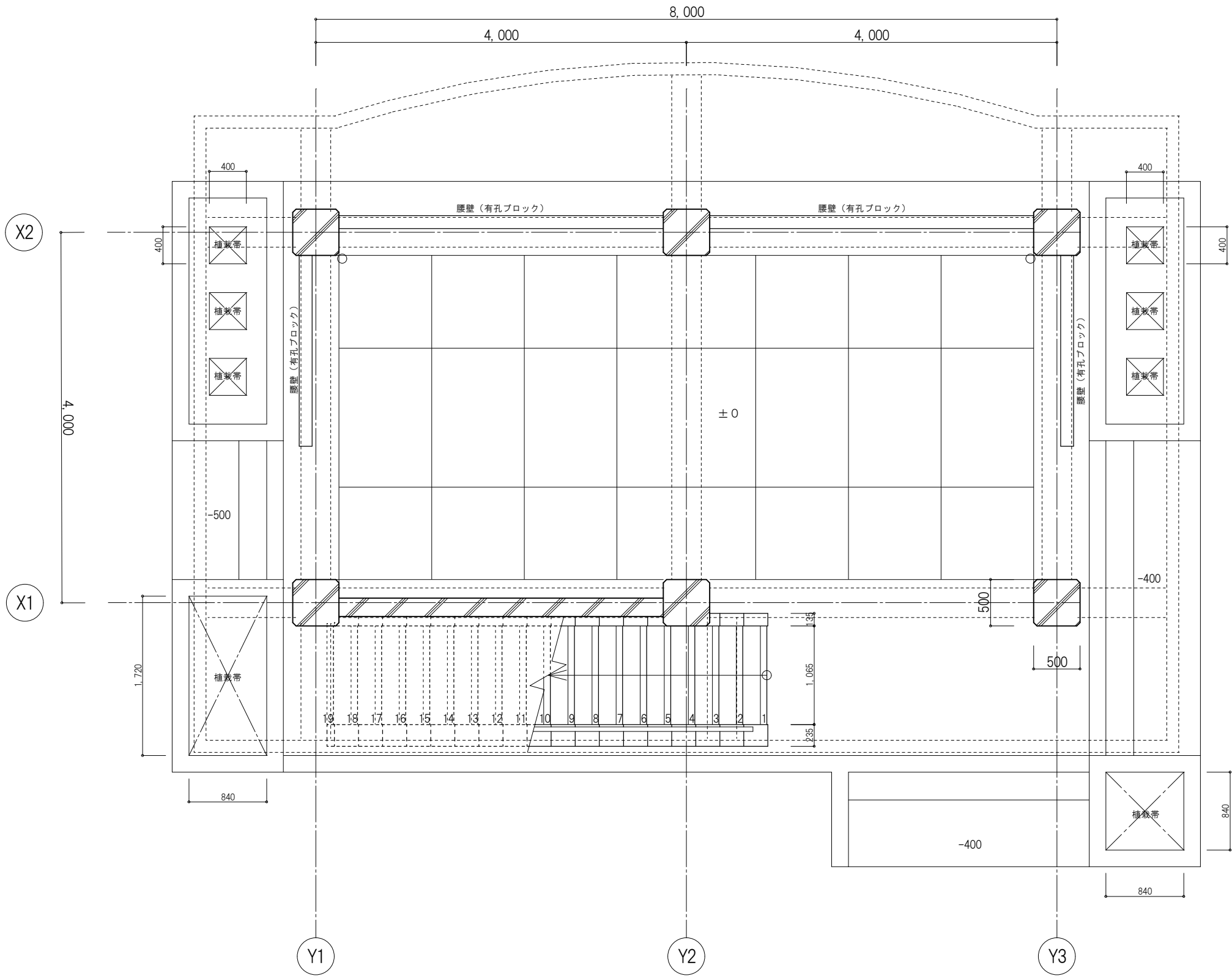


訂正	防水改修工事	3	防水改修工事	3	6	合成高分子系ルーフィングシート防水 〔3. 1. 4〕 〔3. 2. 6〕 〔3. 5. 2～4〕 〔表3. 5. 1～3〕	防水層の種類	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類 使用量	高日射反射率 防水の適用	備考	4 1	外壁改修工事（共通事項）	10 とい 〔3. 8. 2、3〕	この材料 ・硬質ポリ塩化ビニル管 カラー ・ルーフトレン（改修用2重ドレン）	4 1 外壁改修工事（共通事項）	5 ポリマーセメントスラリー 〔4. 2. 2〕	品質性能等 注入試験：拡がり速さ3㎠/s以上、粘弾係数0. 5～1. 0 保水試験：保水係数0. 35～0. 55 長さ変化試験：長さ変化率3％以下（収縮） 引張接着強さ：0. 5 N/mm ² 以上（2 8日材齢） 曲げ強度：5. 0 N/mm ² 以上（2 8日材齢） 吸水率：1 5％以下（7 2時間） 劣化曲げ強さ：5. 0 N/mm ² 以上														
訂正	改質アスファルトシート防水 〔3. 1. 4〕 〔3. 2. 6〕 〔3. 4. 2、3〕	5	改質アスファルトシート防水	3	7	塗膜防水 〔3. 1. 4〕 〔3. 2. 6〕 〔3. 6. 2、3〕	防水層の種類	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類 使用量	高日射反射率 防水の適用	備考	4 1	外壁改修工事（共通事項）	1	可とう性エポキシ樹脂 〔4. 2. 2〕	品質性能等 比重：表示値±0. 1 0、押出し性：6 0秒以下 スランプ：3 mm以下、加熱減量：5％以下 引張強さ： 常温物性1. 0 N/mm ² 以上、低温性1. 0 N/mm ² 以上、加熱劣化1. 0 N/mm ² 以上 伸び：常温物性3 0％以上、低温性3 0％以上、加熱劣化3 0％以上 引張接着性 最大引張応力：常温物性1. 0 N/mm ² 以上 破断時の伸び：常温物性1 0％以上 (1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 (2)対象とする被着体を浸さず、かつ周囲を汚損しないこと。 (3)常温・常温（温度5～35℃、湿度45～85％）において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合していること。 (試験方法) 1) 試験室の状態：試験室は、特に指定のない限り、標準状態とする。 標準状態とは、JIS K 7100「プラスチック-状態調節及び試験のための標準雰囲気」の5（標準雰囲気の級別）に規定する標準雰囲気2級〔温度23±2℃、湿度（50±10）％〕をいう。 2) 押出し性：JIS A 6024(2015)「建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂」の5.12押し出し性試験）による。 3) スランプ：JIS A 6024の5.10（スランプ試験8法）による。 4) 引張接着性：JIS A 6024の5.15（引張接着性試験）による。 5) 引張特性：JIS A 6024の5.19（引張特性試験6法）による。 6) 加熱減量：JIS A 6024の5.27（加熱減量試験8法）による。 7) 密度：JIS A 6024の5.29（密度）による。	2	ポリマーセメントモルタル 〔4. 2. 2〕	品質性能等 だれ 下がり量：5 mm以内、表面状態：ひび割れの発生がないこと 曲げ強さ：6. 0 N/mm ² 以上、圧縮強さ：2 0. 0 N/mm ² 以上 接着性 標準時：1. 0 N/mm ² 以上、湿潤時：0. 8 N/mm ² 以上、低温時0. 5 N/mm ² 以上 透水性：表面ぬれ、水滴の付着がないこと (1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 (2)ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質がないこと。	3	バテ状エポキシ樹脂 〔4. 2. 2〕	品質性能等 初期硬化性（標準）：2. 0 N/mm ² 以上、接着強さ（標準）6.0 N/mm ² 以上 圧縮強さ：50.0 N/mm ² 以上、曲げ強さ：30 N/mm ² 以上、硬化収縮率：3.0％以下 (1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 (2)対象とする被着体を浸さず、かつ周囲を汚損しないこと。 (3)常温・常温（温度5～35℃、湿度45～85％）において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合していること。 (試験方法) 1) 試験室の状態：試験室は、特に指定のない限り、標準状態とする。 標準状態とは、JIS K 7100「プラスチック-状態調節及び試験のための標準雰囲気」の5（標準雰囲気の級別）に規定する標準雰囲気2級〔温度23±2℃、湿度（50±10）％〕をいう。 2) 接着強さ：JIS A 6024(2015)「建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂」の5.13（接着強さ試験A法）による。 3) 曲げ強さ：JIS A 6024の5.21（曲げ強さ試験8法）による。 4) 圧縮強さ：JIS A 6024の5.22（圧縮強さ試験A法）による。 5) 硬化収縮率：JIS A 6024の5.25（硬化収縮率試験）による。 6) 初期硬化性：JIS A 6024の5.28（初期硬化性試験）による。	4	エポキシ樹脂モルタル 〔4. 2. 2〕	品質性能等 接着強さ：1.0 N/mm ² 以上 圧縮強さ：20.0 N/mm ² 以上 曲げ強さ：3日後の値 1 0 N/mm ² 以上 (1)こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がり良好であること。 (2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 (3)「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 (4)形状に異常がなく、だれが生じないこと。 (5)常温・常温（温度5～35℃、湿度45～85％）において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合していること。 (試験方法) 1) 試験室の状態：試験室は、特に指定のない限り、標準状態とする。 標準状態とは、JIS K 7100「プラスチック-状態調節及び試験のための標準雰囲気」の5（標準雰囲気の級別）に規定する標準雰囲気2級〔温度23±2℃、湿度（50±10）％〕をいう。 2) だれ：JIS A 6024(2015)「建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂」の5.11（だれ試験）に依る。 3) 接着強さ：JIS A 6024の5.14（接着強さ試験8法）による。 4) 曲げ強さ：JIS A 6024の5.20（曲げ強さ試験A法）による。 5) 圧縮強さ：JIS A 6024の5.23（圧縮強さ試験8法）による。	4 1	外壁改修工事（共通事項）	6	改質調整材 〔4. 2. 2〕	7	既製調合モルタル 〔4. 2. 2〕	モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 品質性能等 保水率：7 0％以上 単位容積質量：1.8 t/m ³ 以上 接着強さ：標準時 0.6 N/mm ² 以上、湿潤時0.4 N/mm ² 以上 長さ変化率：0.2％以下 曲げ強さ：4.0 N/mm ² 以上 試験方法 イ）試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準値より質量より換算し、所定量の試料とする。 練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の9.1に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、撹拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間撹混ぜて試料とする。 ロ）保水率 JIS R 3202「フロートガラス及び磨き板ガラス」に規定するみがきガラス（縦150mm、横150mm、厚さ5mm）の上にJIS P 3801「ろ紙（化学分析用）」に規定する5 Aろ紙（直径11 cm）をのせ、その中央部に真ちゅう製リング製わく（内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm）を設置し、（1）で調製した試料を平滑に詰め込む。 その後、真ちにリング製わく上部にガラス板を当てて下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直交な方向の長さをもノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて式次により保水率を求める。 保水率＝50/平均値×100（注） 50：リング製わくの内径 mm ハ）単位容積質量 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 二）標準時の接着強さ 1. 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 （試験体の作製）JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B（規定）及び推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに（1）で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定する外装壁モザイクタイルで乾式成形の1類（施ゆう）150角ユニットタイル（外のり寸法約300mm×300mm）を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80％以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 （試験方法）JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.9接着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に連するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。（全てが0.6 N/mm ² 以上） 2. 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 （試験体の作製）JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B（規定）及び推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに（1）で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定する外装壁モザイクタイルで乾式成形の1類（施ゆう）150角ユニットタイル（外のり寸法約300mm×300mm）を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80％以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 （試験方法）「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 ホ）湿冷縮後の接着強さ （試験体の作製）「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々（4）接着強さ（標準時）の試験方法の「試験体」と同様とする。 （湿冷縮後試験）「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10湿冷縮後試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに－20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±2℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 （湿冷縮後試験後の接着強さ試験方法）「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々湿冷縮後試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4 N/mm ² 以上） ヘ）長さ変化率 JIS A 6203「セメント混和用ポリマーディスペルジョン及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 ト）曲げ強さ JIS A 6916「建築用下地調整材」7.11 曲げ強さ試験に準ずる。
訂正	防水改修工事	3	防水改修工事	3	6	合成高分子系ルーフィングシート防水 〔3. 1. 4〕 〔3. 2. 6〕 〔3. 5. 2～4〕 〔表3. 5. 1～3〕	防水層の種類	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類 使用量	高日射反射率 防水の適用	備考	4 1	外壁改修工事（共通事項）	10 とい 〔3. 8. 2、3〕	この材料 ・硬質ポリ塩化ビニル管 カラー ・ルーフトレン（改修用2重ドレン）	4 1 外壁改修工事（共通事項）	5 ポリマーセメントスラリー 〔4. 2. 2〕	品質性能等 注入試験：拡がり速さ3㎠/s以上、粘弾係数0. 5～1. 0 保水試験：保水係数0. 35～0. 55 長さ変化試験：長さ変化率3％以下（収縮） 引張接着強さ：0. 5 N/mm ² 以上（2 8日材齢） 曲げ強度：5. 0 N/mm ² 以上（2 8日材齢） 吸水率：1 5％以下（7 2時間） 劣化曲げ強さ：5. 0 N/mm ² 以上														
訂正	改質アスファルトシート防水 〔3. 1. 4〕 〔3. 2. 6〕 〔3. 4. 2、3〕	5	改質アスファルトシート防水	3	7	塗膜防水 〔3. 1. 4〕 〔3. 2. 6〕 〔3. 6. 2、3〕	防水層の種類	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類 使用量	高日射反射率 防水の適用	備考	4 1	外壁改修工事（共通事項）	1	可とう性エポキシ樹脂 〔4. 2. 2〕	品質性能等 比重：表示値±0. 1 0、押出し性：6 0秒以下 スランプ：3 mm以下、加熱減量：5％以下 引張強さ： 常温物性1. 0 N/mm ² 以上、低温性1. 0 N/mm ² 以上、加熱劣化1. 0 N/mm ² 以上 伸び：常温物性3 0％以上、低温性3 0％以上、加熱劣化3 0％以上 引張接着性 最大引張応力：常温物性1. 0 N/mm ² 以上 破断時の伸び：常温物性1 0％以上 (1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 (2)対象とする被着体を浸さず、かつ周囲を汚損しないこと。 (3)常温・常温（温度5～35℃、湿度45～85％）において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合していること。 (試験方法) 1) 試験室の状態：試験室は、特に指定のない限り、標準状態とする。 標準状態とは、JIS K 7100「プラスチック-状態調節及び試験のための標準雰囲気」の5（標準雰囲気の級別）に規定する標準雰囲気2級〔温度23±2℃、湿度（50±10）％〕をいう。 2) 押出し性：JIS A 6024(2015)「建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂」の5.12押し出し性試験）による。 3) スランプ：JIS A 6024の5.10（スランプ試験8法）による。 4) 引張接着性：JIS A 6024の5.15（引張接着性試験）による。 5) 引張特性：JIS A 6024の5.19（引張特性試験6法）による。 6) 加熱減量：JIS A 6024の5.27（加熱減量試験8法）による。 7) 密度：JIS A 6024の5.29（密度）による。	2	ポリマーセメントモルタル 〔4. 2. 2〕	品質性能等 だれ 下がり量：5 mm以内、表面状態：ひび割れの発生がないこと 曲げ強さ：6. 0 N/mm ² 以上、圧縮強さ：2 0. 0 N/mm ² 以上 接着性 標準時：1. 0 N/mm ² 以上、湿潤時：0. 8 N/mm ² 以上、低温時0. 5 N/mm ² 以上 透水性：表面ぬれ、水滴の付着がないこと (1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 (2)ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質がないこと。	3	バテ状エポキシ樹脂 〔4. 2. 2〕	品質性能等 初期硬化性（標準）：2. 0 N/mm ² 以上、接着強さ（標準）6.0 N/mm ² 以上 圧縮強さ：50.0 N/mm ² 以上、曲げ強さ：30 N/mm ² 以上、硬化収縮率：3.0％以下 (1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 (2)対象とする被着体を浸さず、かつ周囲を汚損しないこと。 (3)常温・常温（温度5～35℃、湿度45～85％）において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合していること。 (試験方法) 1) 試験室の状態：試験室は、特に指定のない限り、標準状態とする。 標準状態とは、JIS K 7100「プラスチック-状態調節及び試験のための標準雰囲気」の5（標準雰囲気の級別）に規定する標準雰囲気2級〔温度23±2℃、湿度（50±10）％〕をいう。 2) 接着強さ：JIS A 6024(2015)「建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂」の5.13（接着強さ試験A法）による。 3) 曲げ強さ：JIS A 6024の5.21（曲げ強さ試験8法）による。 4) 圧縮強さ：JIS A 6024の5.22（圧縮強さ試験A法）による。 5) 硬化収縮率：JIS A 6024の5.25（硬化収縮率試験）による。 6) 初期硬化性：JIS A 6024の5.28（初期硬化性試験）による。	4	エポキシ樹脂モルタル 〔4. 2. 2〕	品質性能等 接着強さ：1.0 N/mm ² 以上 圧縮強さ：20.0 N/mm ² 以上 曲げ強さ：3日後の値 1 0 N/mm ² 以上 (1)こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がり良好であること。 (2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 (3)「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 (4)形状に異常がなく、だれが生じないこと。 (5)常温・常温（温度5～35℃、湿度45～85％）において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合していること。 (試験方法) 1) 試験室の状態：試験室は、特に指定のない限り、標準状態とする。 標準状態とは、JIS K 7100「プラスチック-状態調節及び試験のための標準雰囲気」の5（標準雰囲気の級別）に規定する標準雰囲気2級〔温度23±2℃、湿度（50±10）％〕をいう。 2) だれ：JIS A 6024(2015)「建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂」の5.11（だれ試験）に依る。 3) 接着強さ：JIS A 6024の5.14（接着強さ試験8法）による。 4) 曲げ強さ：JIS A 6024の5.20（曲げ強さ試験A法）による。 5) 圧縮強さ：JIS A 6024の5.23（圧縮強さ試験8法）による。	4 1	外壁改修工事（共通事項）	6	改質調整材 〔4. 2. 2〕	7	既製調合モルタル 〔4. 2. 2〕	モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 品質性能等 保水率：7 0％以上 単位容積質量：1.8 t/m ³ 以上 接着強さ：標準時 0.6 N/mm ² 以上、湿潤時0.4 N/mm ² 以上 長さ変化率：0.2％以下 曲げ強さ：4.0 N/mm ² 以上 試験方法 イ）試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準値より質量より換算し、所定量の試料とする。 練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の9.1に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、撹拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間撹混ぜて試料とする。 ロ）保水率 JIS R 3202「フロートガラス及び磨き板ガラス」に規定するみがきガラス（縦150mm、横150mm、厚さ5mm）の上にJIS P 3801「ろ紙（化学分析用）」に規定する5 Aろ紙（直径11 cm）をのせ、その中央部に真ちゅう製リング製わく（内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm）を設置し、（1）で調製した試料を平滑に詰め込む。 その後、真ちにリング製わく上部にガラス板を当てて下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直交な方向の長さをもノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて式次により保水率を求める。 保水率＝50/平均値×100（注） 50：リング製わくの内径 mm ハ）単位容積質量 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 二）標準時の接着強さ 1. 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 （試験体の作製）JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B（規定）及び推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに（1）で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定する外装壁モザイクタイルで乾式成形の1類（施ゆう）150角ユニットタイル（外のり寸法約300mm×300mm）を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80％以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 （試験方法）JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.9接着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に連するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。（全てが0.6 N/mm ² 以上） 2. 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 （試験体の作製）JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B（規定）及び推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに（1）で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定する外装壁モザイクタイルで乾式成形の1類（施ゆう）150角ユニットタイル（外のり寸法約300mm×300mm）を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80％以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 （試験方法）「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 ホ）湿冷縮後の接着強さ （試験体の作製）「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々（4）接着強さ（標準時）の試験方法の「試験体」と同様とする。 （湿冷縮後試験）「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10湿冷縮後試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに－20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±2℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 （湿冷縮後試験後の接着強さ試験方法）「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々湿冷縮後試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4 N/mm ² 以上） ヘ）長さ変化率 JIS A J

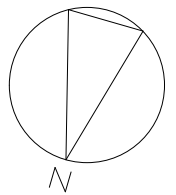
仕上表		改修前	改修後	備考
	1 階床	コンクリート直押え		
	2 階床	コンクリート直押え		
	屋上床	コンクリート直押え		
	壁	コンクリートの上、吹付塗装		
	柱	コンクリートの上、着色塗装		
	梁	コンクリートの上、左官塗り		
	階段裏側	コンクリートの上、吹付塗装		
	天井	コンクリート直仕上げ、一部着色塗装		
	巾木	コンクリート直仕上げ H=100		
	階段	コンクリート直押え 段鼻タイル		
	階段笠木	モルタル笠木		
	屋上笠木	モルタル笠木		
	2 階笠木	モルタル笠木		
	手すり	支柱・上枠・下枠：□-50×50 SOP塗り 手すり子：□-20×20 SOP塗り	RB種下地調整 錆止め塗料2回塗り SOP塗り	階段・屋上共 手すり子ユニット取付（SOP塗装） 下枠に水抜き穴を設ける 支柱腐食部切断、新支柱溶接取付（1階～2階） 下枠破損部パッチ補強（2階～屋上）
	特記事項	・塗装改修・防水改修部分は高圧水洗をし、劣化部を除去する。		



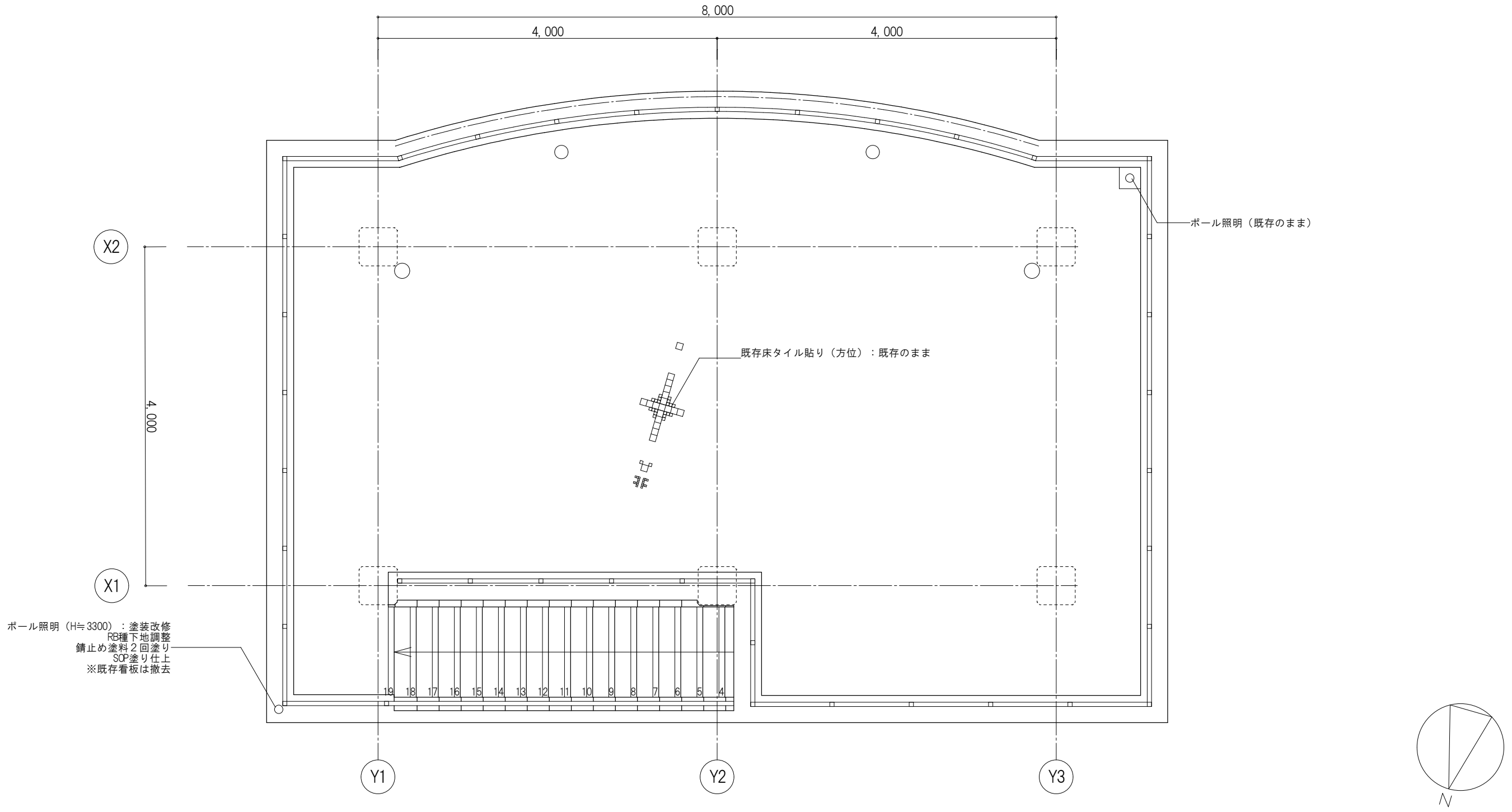
工事場所：三次市三次町尾関山公園内



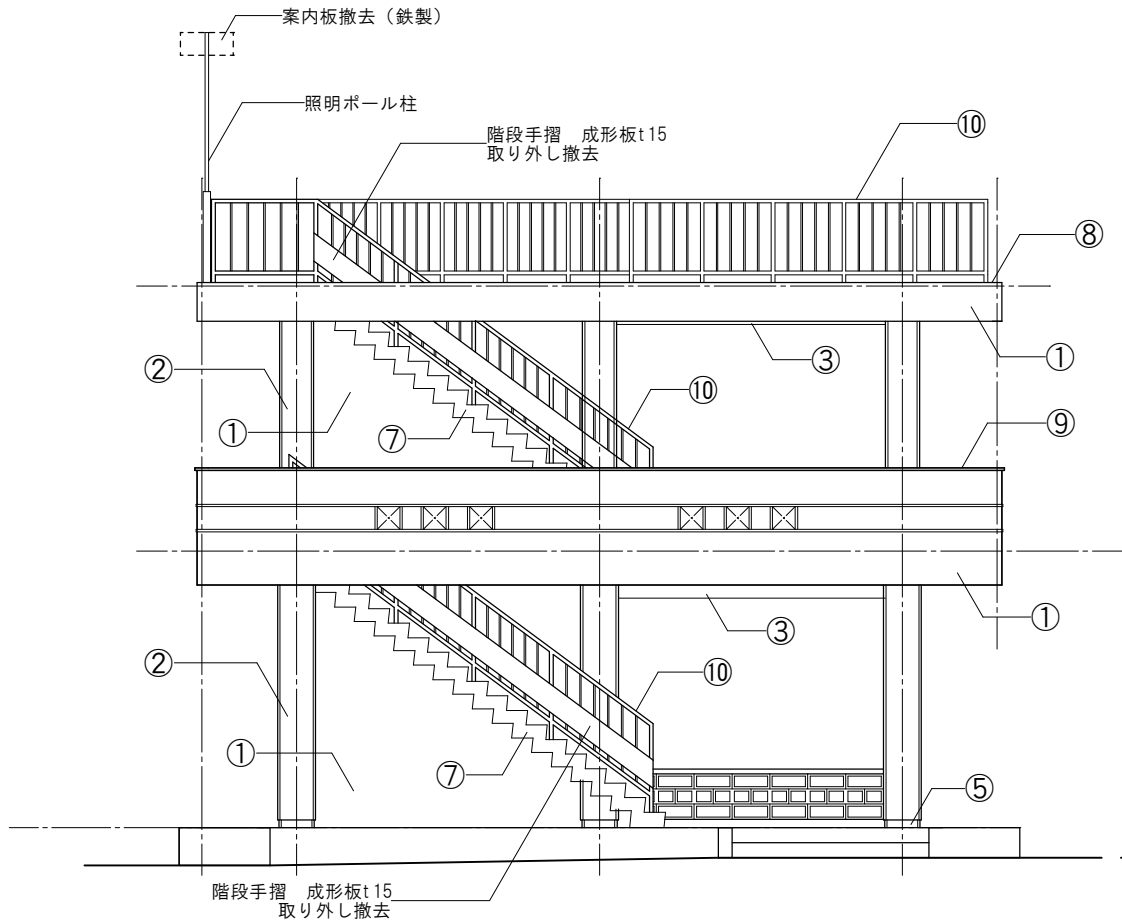
訂正																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					</
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----



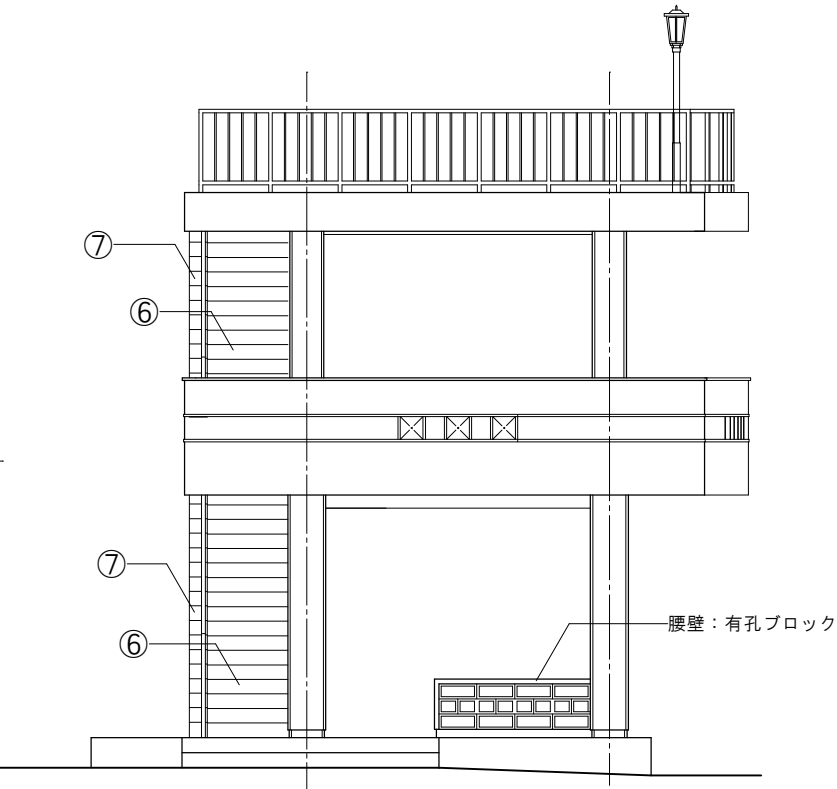
訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	検 図	製 図	工事名称 尾関山公園展望台改修工事	図面名称 2階平面図	図面番号
				A-06			
				縮尺			A3判: 1 / 50



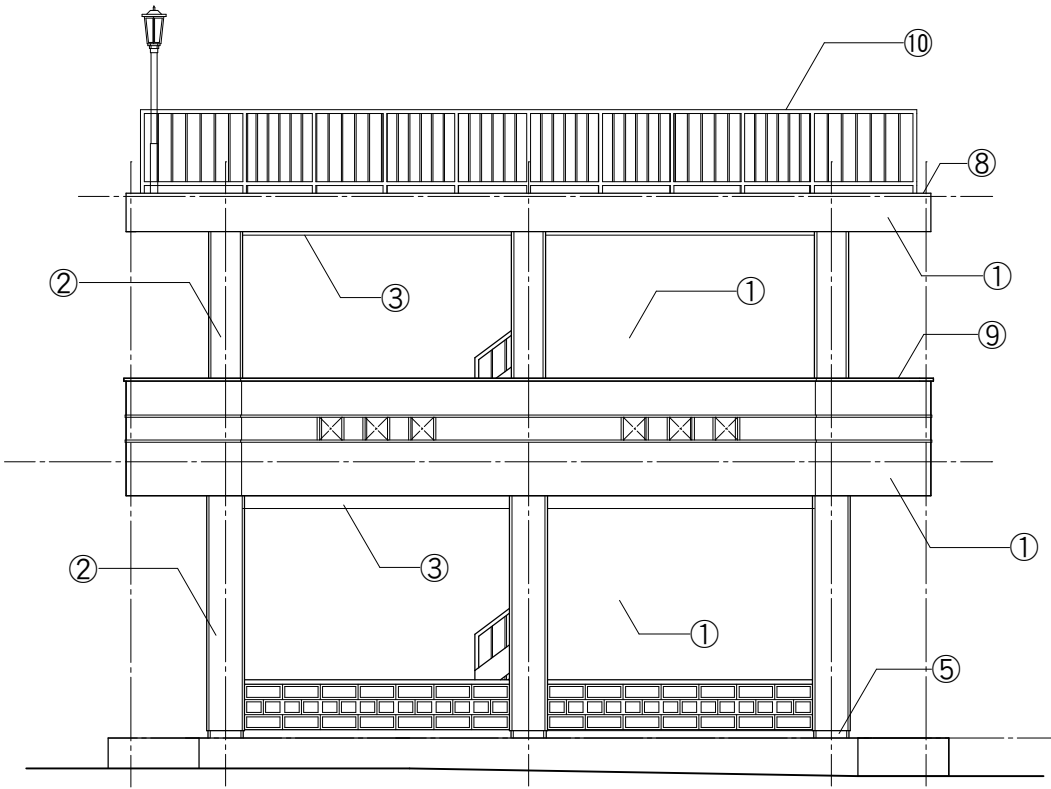
訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	検 図	製 図	工事名称 尾関山公園展望台改修工事	図面名称 屋上平面図	図面番号
				A-07			
				縮尺 A3判：1／50			区分



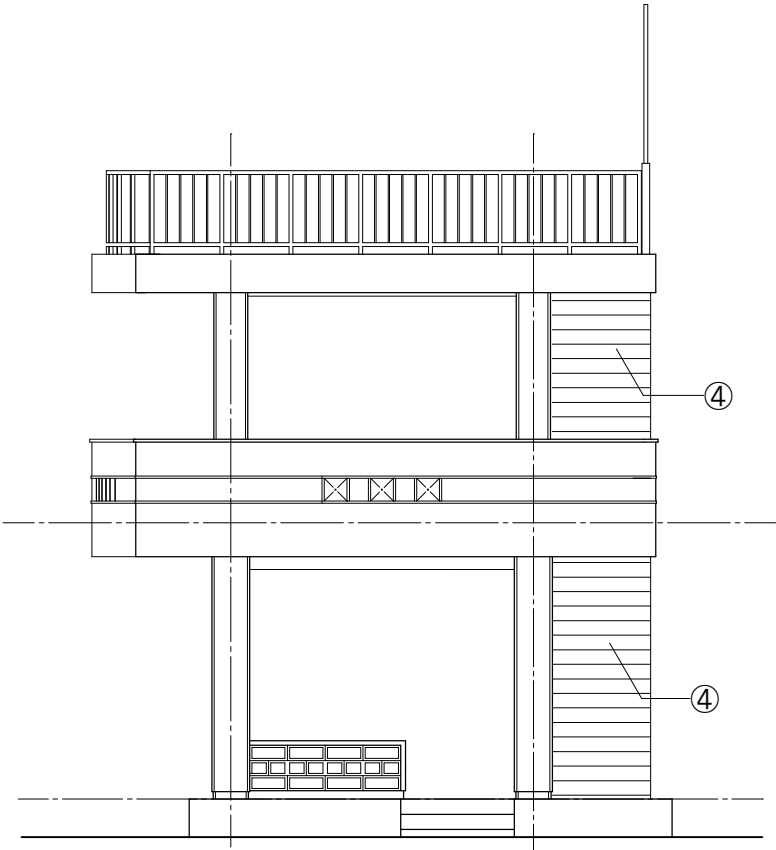
北側立面図 1/100



西側立面図 1/100



南側立面図 1/100



東側立面図 1/100

①	壁	コンクリートの上、吹付塗装
②	柱	コンクリートの上、着色塗装
③	梁	コンクリートの上、左官塗り
④	階段裏側	コンクリートの上、吹付塗装
⑤	巾木	コンクリート直仕上げ H=100
⑥	階段	コンクリート直押え 段鼻タイル
⑦	階段笠木	モルタル笠木
⑧	屋上笠木	モルタル笠木
⑨	2階笠木	モルタル笠木
⑩	手すり	支柱・上枠・下枠：□-50×50 SOP塗り 手すり子：□-20×20 SOP塗り

訂正	

TAKASHI HARAI ARCHITECTS
株式会社原井隆建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号
一級建築士 登録 第320892号 原井 隆

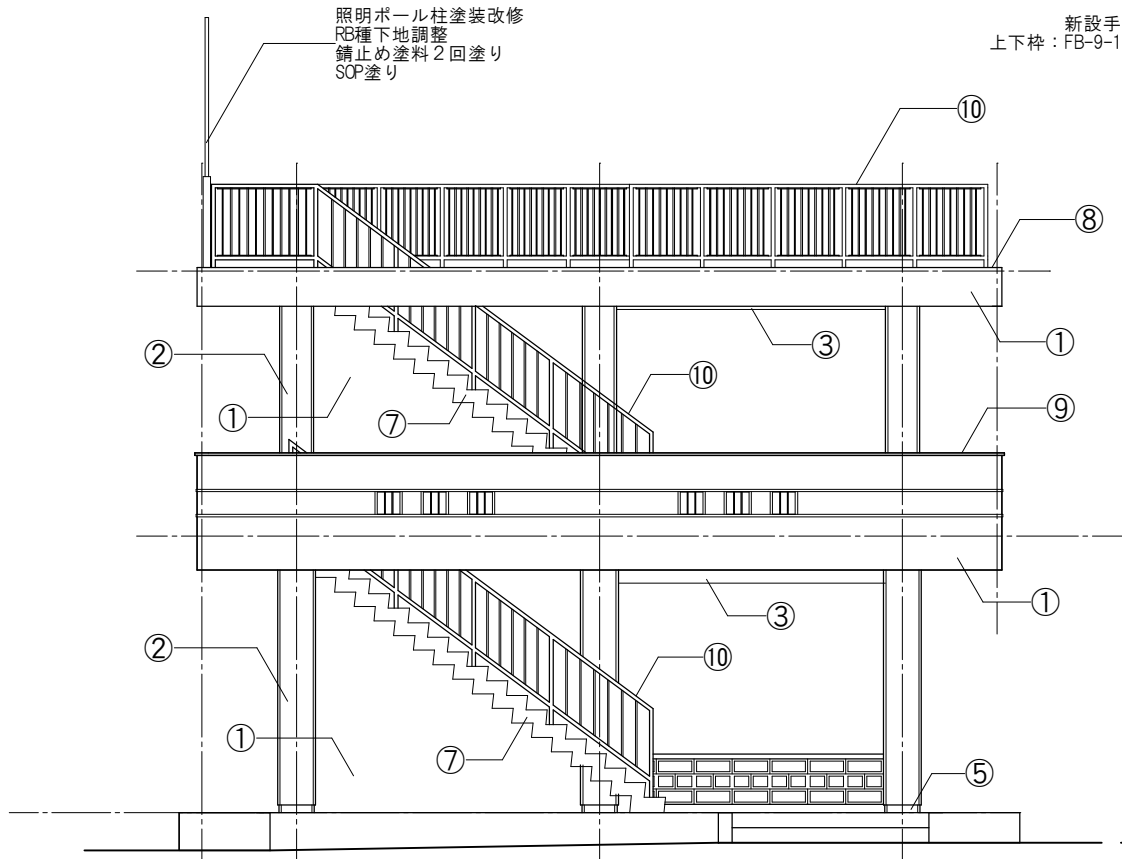
検 図	製 図

工事名称
尾関山公園展望台改修工事

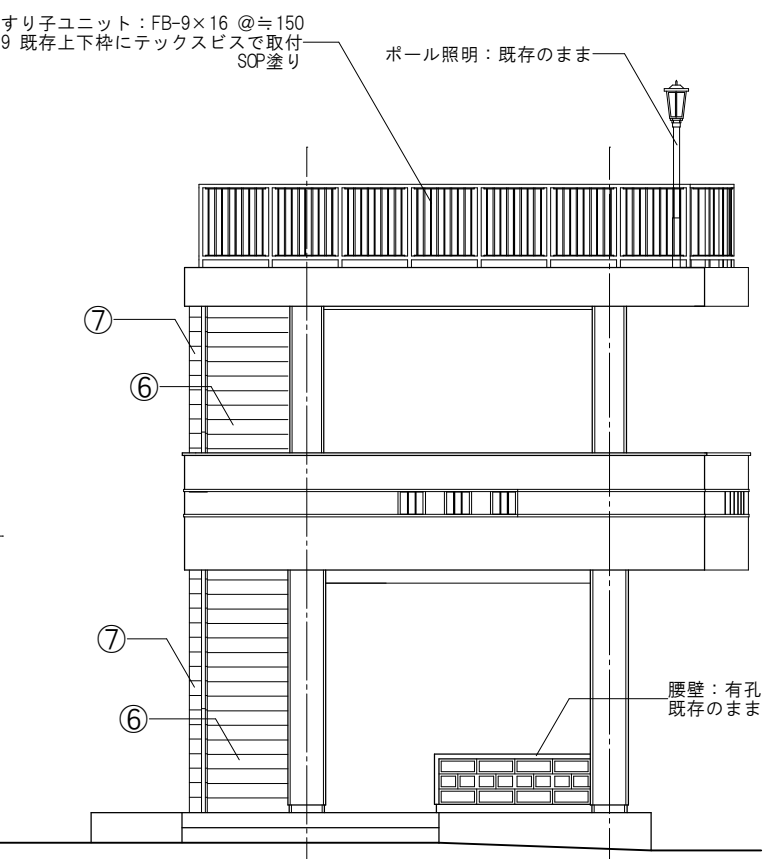
図面名称
階 尺

立面図（改修前）
A3判：1／100

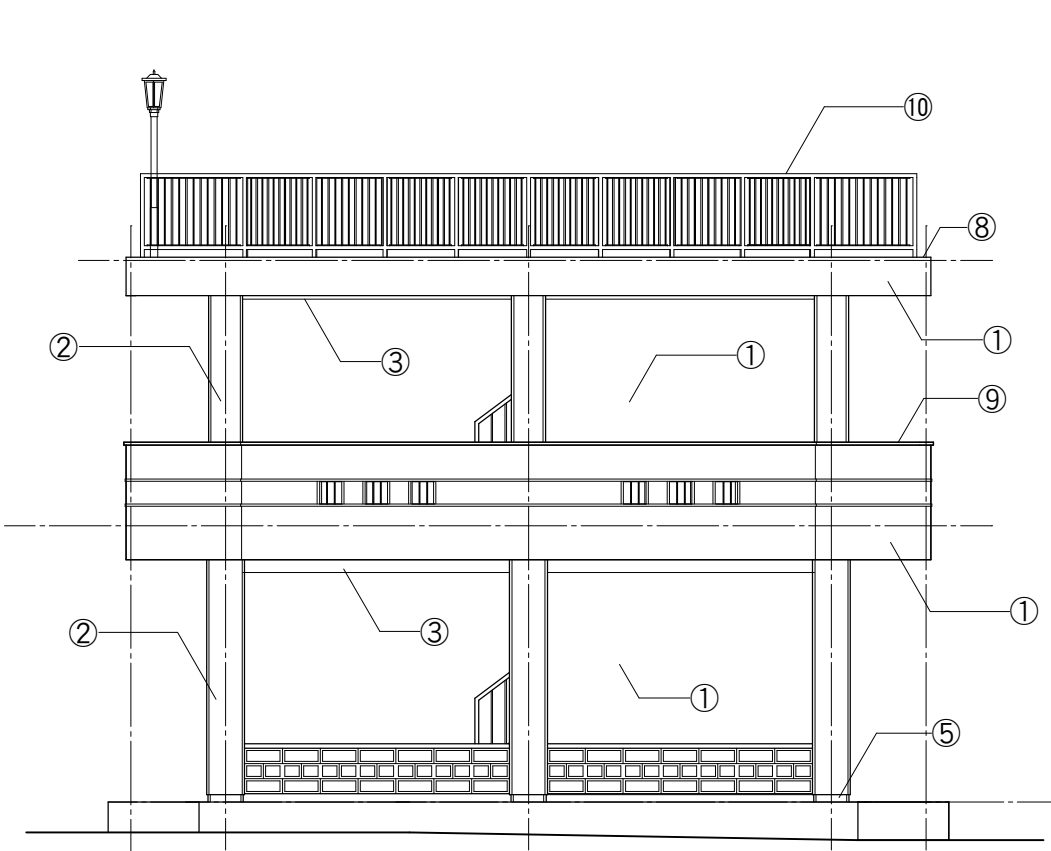
図面番号 A-08
区分



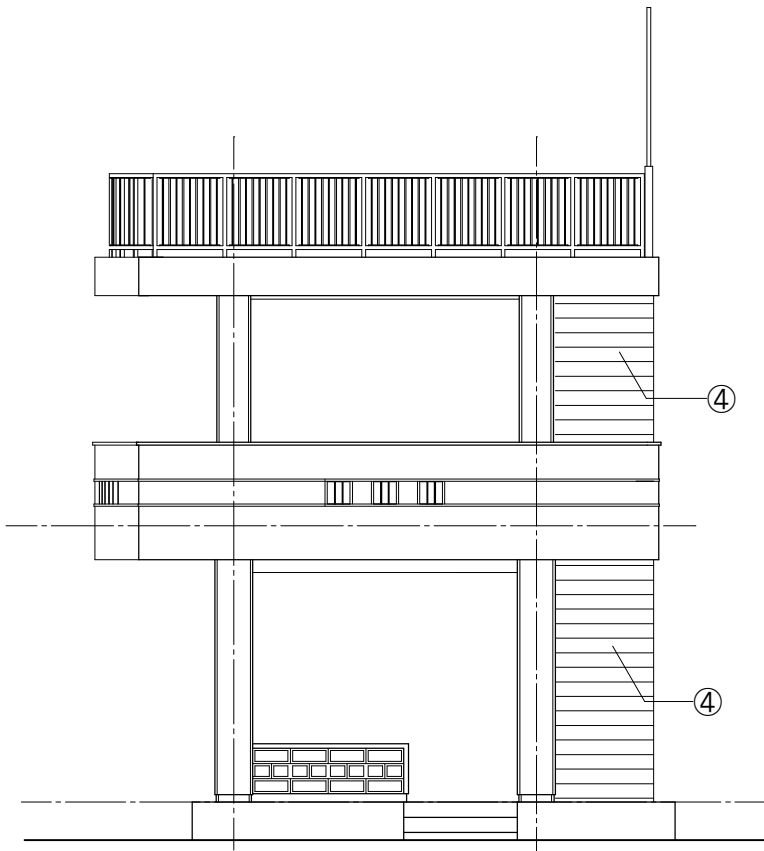
北側立面図 1/100



西側立面図 1/100



南側立面図 1/100



東側立面図 1/100

①	壁	
②	柱	
③	梁	
④	階段裏側	
⑤	巾木	
⑥	階段	
⑦	階段笠木	
⑧	屋上笠木	
⑨	2階笠木	
⑩	手すり	RB種下地調整 錆止め塗料2回塗り SOP塗り

訂正	

TAKASHI HARAI ARCHITECTS
株式会社原井隆建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号
一級建築士 登録 第320892号 原井 隆

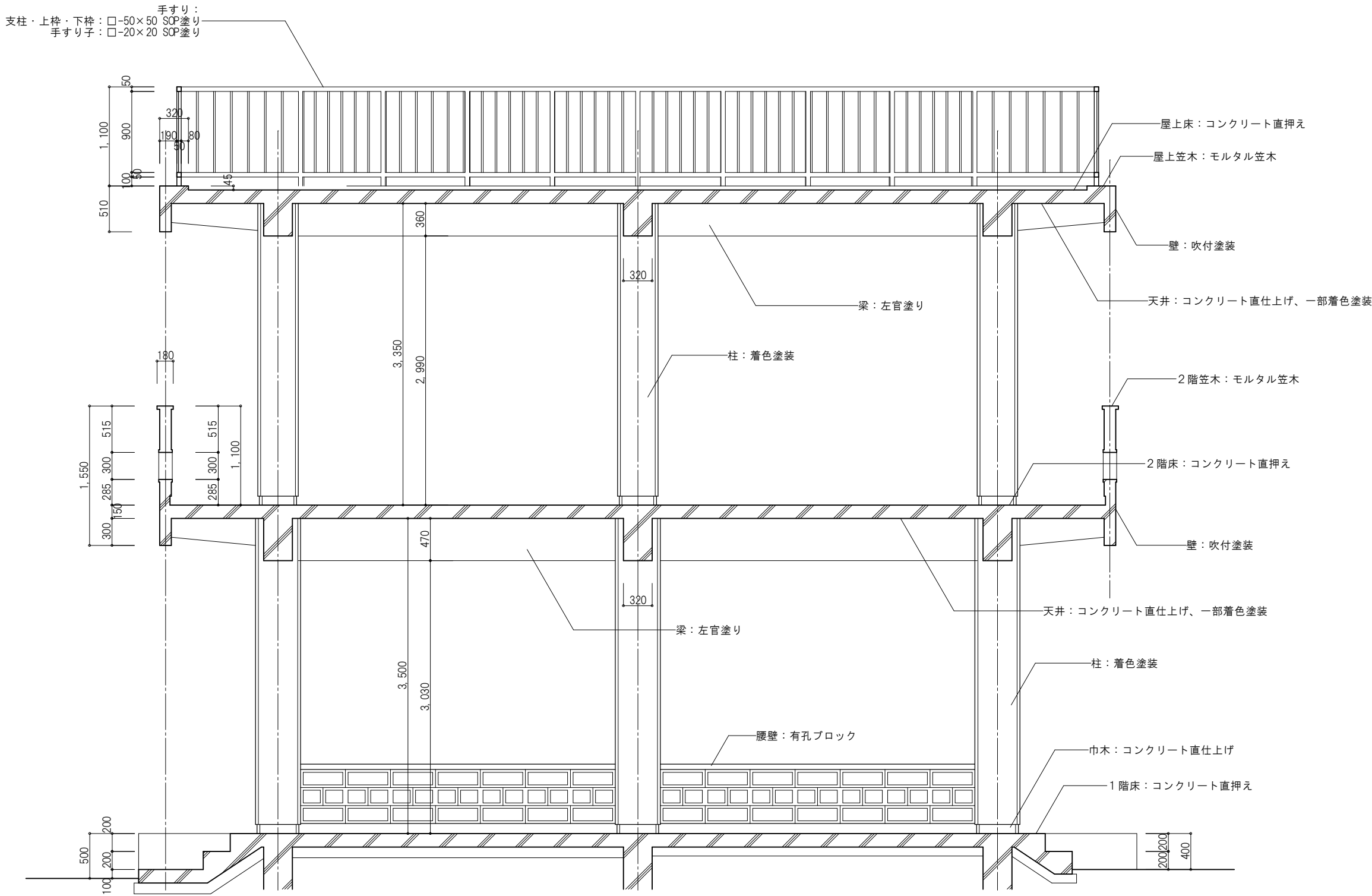
検 図

製 図

工事名称
尾関山公園展望台改修工事

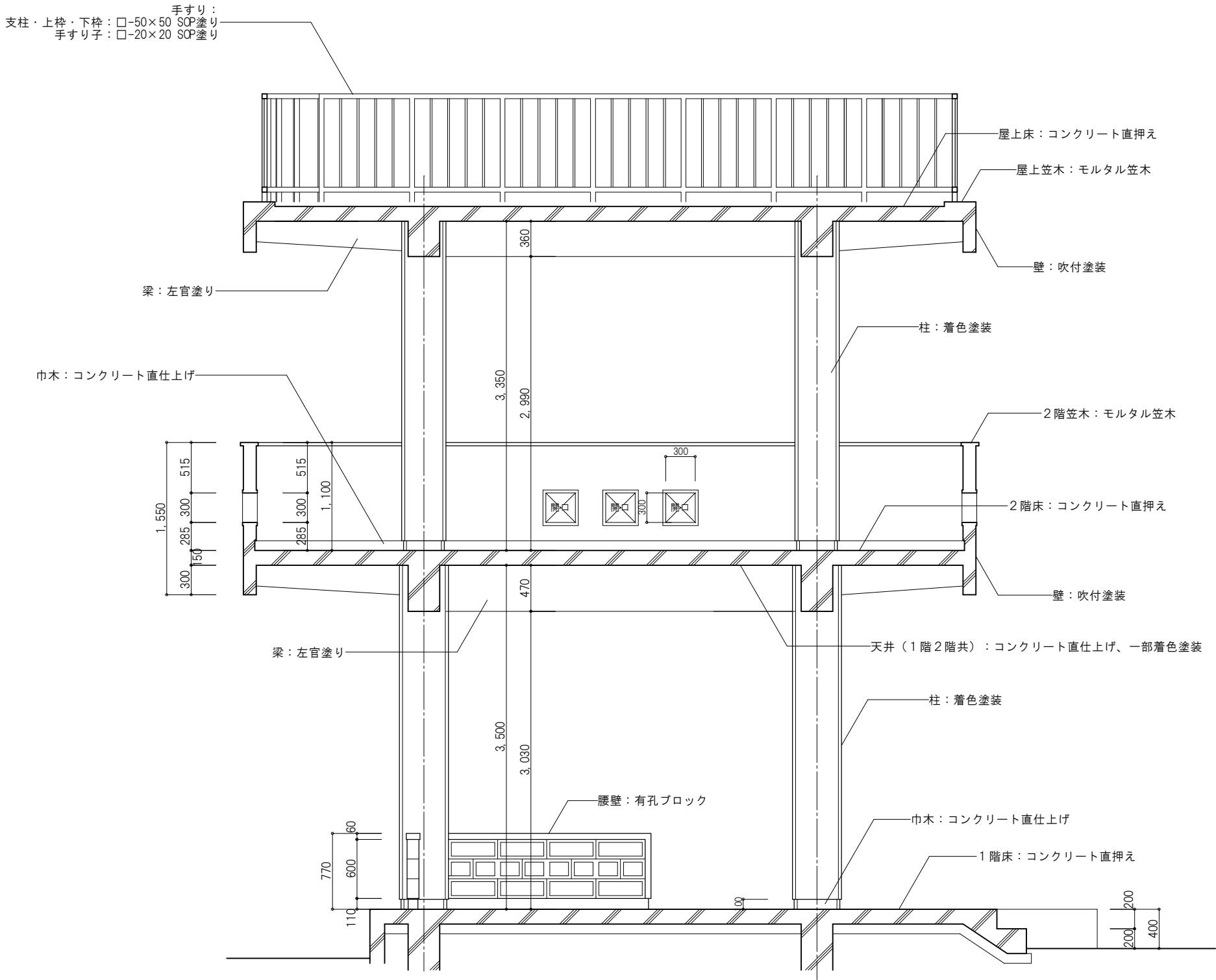
図面名称
立面図（改修後）
縮尺
A3判：1/100

図面番号
A-09
区分



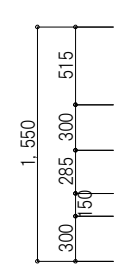
断面図 1 1/50

図 面 名 称		検 図	製 図	工事名称	断面番号		
						断面図 1（改修前）	A-10
TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆							



断面図 2 1/50

図 名		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	検 図	製 図	工事名称 尾関山公園展望台改修工事	図 面 名 称 断 尺	断面図 2 (改修前)	図面番号 A-11
							A3判: 1/50	区 分



断面図（改修後） 1/50

訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	棟 図	製 図	工事名称 尾関山公園展望台改修工事	断面名称 断面図2（改修後） 縮尺 A3判：1／50	断面番号 A-12 区分

